

「海上自衛隊水中処分員」を中学生に紹介

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は9月25日（金）横浜市立日吉台中学校の実施する『職業講話』に協力した。この講話は、生徒の進路指導の一環として自衛隊の仕事を伝えたいと当該中学校より要望を受け実現したもので、自衛隊の仕事に興味を持つ2年生19名が参加した。

講話は所長による自衛隊の全般説明に始まり、海上自衛隊横須賀警備隊水中処分隊出身で、全国約200名の水中処分員のうち2名しかいない女性水中処分員の田中3海曹等海曹が、水中処分員を目指した理由や令和元年10月の台風19号における災害派遣の体験などを踏まえて、海上自衛隊及び水中処分隊の活動内容を紹介し、最後に国民の生命と財産を守る自衛隊という職業があることを覚えてほしいと述べた。

参加した生徒たちからは「危ないと思ったことはないの？」「女性で水中処分員になるために努力したことは？」などの質問があり積極的にメモを取るなど、一生懸命に聞く姿勢が見られた。また「自衛隊を身近に感じることができた」との感想もあつた。

横浜出張所は、「今後も積極的に各学校の職業講話等に協力し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」とコメントした。



職種等の説明



陸海空制服等の紹介



水中処分員の説明をする田中3海曹

駿台予備校横浜校 防衛医科大学校医学科説明会

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は、9月25日～9月29日の6日間、駿台予備校横浜校において防衛医科大学校医学科説明会を実施した。同校では毎年多数の防衛医科大学校受験希望者がいるため、例年は2回に分けて実施していたが今年度は新型コロナウイルス感染症防止を考慮して6回に分けて実施した。

たけ

初回には、神奈川地本小田原地域事務所より入校した同校OBでもある防衛医科大学校医学科第2学年の武学生が、学生生活や医学科での授業等についてありのままを先輩たちに伝えた。また、受験体験や受験する上での心構えなどについてアドバイスをを行った。

受験希望者からは「医官って何？自衛官なの？医者なの？」「勉強より自衛隊の訓練が大変そう」といったイメージがあったようだが、説明後は「思ったより楽しそう」「医官としての仕事に興味が出た」「合格して医官を目指します！」との声がかかれた。

横浜出張所は「今後も駿台予備校との関係を密にして、防衛医科大学校の魅力を伝え、募集成果につなげていきたい」としている。



防衛医科大学校受験希望者に対して説明する

たけ けんご
医学科学生（武 玄悟2年生）